

あたたかな陽射しを感じる シンプルな南欧風彩りを屋根瓦に再現。

本格的洋風住宅の屋根瓦は、ヨーロッパの伝統に培われた鮮やかなカラーバリエーションが魅力です。
素朴なテイストと鮮やかな彩りを合わせ持ち、イメージの数だけ生まれる独特な仕上がりは、
時の経過とともに、さらに味わい深く、豊かな表情を見せてくれます。



WAVE AM-I

Wave Asahi Mountain - I

Pacific series 7 Color Variations



terra cotta ★

blown ★

ecru ★

ochre ★★

amber ★★

snow ★★

ibushi ★★★

ISO9001 認証登録



JTCCM
GSCA
RQ 2059

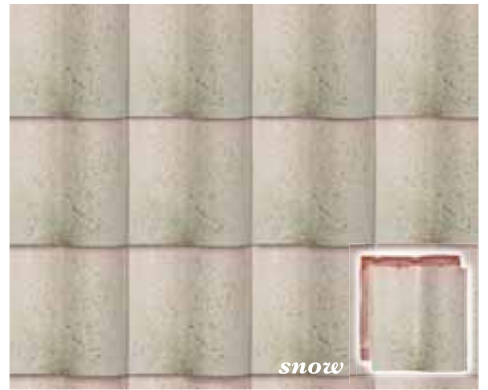
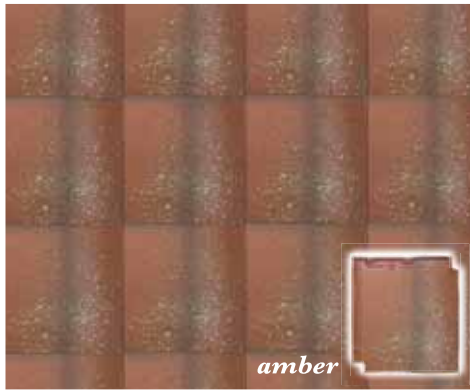
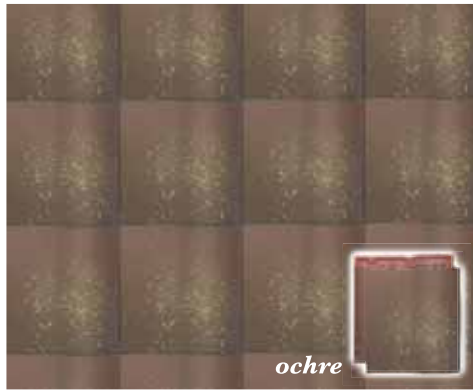
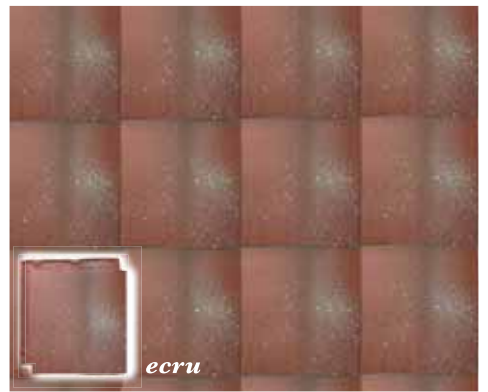
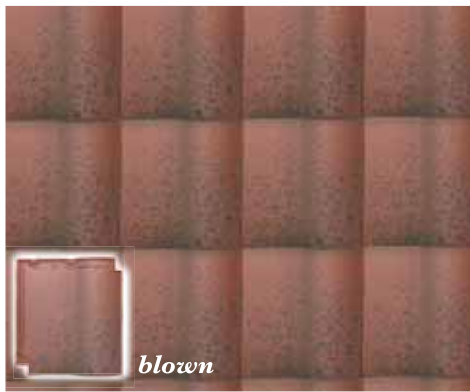
JAB
QS Accreditation
R 015



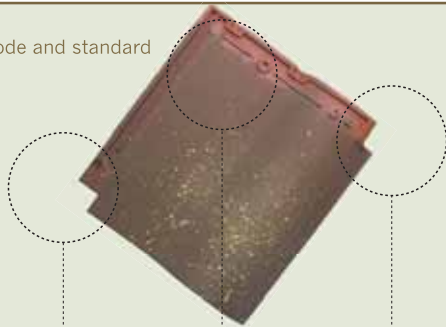
第9代 佐十郎瓦
ASAHI YOUNGYO CO.,LTD.

<http://asahiyougyo.web.infoseek.co.jp>

※印刷インクの性質上、実際の色とは異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。



規格 code and standard



防水機能をさらに強化。重なりポイントの噛み合わせをより複雑にすることで、浸水をはじめ、歪みに対しても段階的な水切りが可能。
 高い水返して浸水を防ぎ、雨漏りをシャットアウト。さらに、前面にもサブ水返して防水機能が向上。
 釘打と噛み合わせのために立体感を強めたことで重なりポイントの固定力が増し、防災機能、デザイン対応性が向上。

カラーバリエーション Color Variations

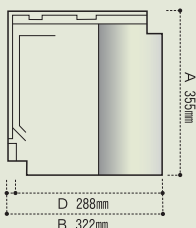


Pacific series
7 Color Variations

※印刷インクの性質上、実際の色とは異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。

仕様 Specifications

- A 全長 355mm (±4)
- B 全巾 322mm (±4)
- C 働き長さ 288mm (±4)
- D 働き巾 288mm (±4)
- E 重量 3.5kg
- F 必要枚数 40枚/坪



製品ご利用に際してのお願い・ご注意

瓦は、天然原料である自然の粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、また同一場所の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使用するため、それ自体が機械化に向くようにはできておらず、科学的な管理が難しい焼成品です。

日本の瓦は、約千年以上前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し、大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承知おきください。

1 製品に関するお願い (粘土瓦の特性について)

- 粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成炉内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。
- 焼き物特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また、瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生する場合があります。
- 施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 陶器瓦（釉薬瓦）は、貫入（かんにゅう）と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは陶器製品特有の釉薬表面層に発生する亀裂であり、本体生地までの亀裂ではなく、品質の劣化を伴うものではありません。
- 陶器瓦（釉薬瓦）には、釉薬面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するものですが、焼き物としての品質上の問題は一切ありません。
- いぶし瓦は、経年の変化による黒ずみなどの色変化が発生する場合がありますが、これは自然素材であるいぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。
- いぶし瓦は、粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水により点状の赤錆が発生する場合がありますが、これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象です。
- 強風雨時等には、瓦のスキマからしぶきが入り込む恐れがありますので、下地材の適正な施工が必要です。
- 製品は、改良のため予告なく変更する場合があります。

2 安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要ですので、専門施工業者にご相談ください。施工に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 積雪地域・強風地域で粘土瓦を使う場合は、特殊な工事を必要とする場合がありますので、必ず専門施工業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する標準施工仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦は割れものの為、運搬・開梱・積み上げにご注意ください。

標準屋根勾配		4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10	6.0/10
その流れ長さ	切妻	8m	10m	12m	15m	17m
	寄棟	6m	8m	10m	13m	15m

※屋根勾配が4.0/10未満の場合はご相談ください。